

PCを用いた小学校5・6年用英語学習プログラムの開発

Development of English Learning Program by PC for 5th and 6th Elementary Graders

弓野 憲一 (Kenichi YUMINO)

(弓野教育研究所)

文科省の小学校5・6年英語活動テキスト、「Hi!Friend1!」「Hi!Friend2!」に準拠して、子どもが自主的に英語を学ぶことのできるPCプログラムを完成させた。プログラム言語は「Flash」である。それぞれの学年で35回分の内容がある。毎回7ステップを踏んで、単語及び対話文の発音と綴りを学習する。学習の定着度・正確さは、キーボードへの打ち込みスピードで12段階に評価され、その段階が音声およびロケットの上昇高さでフィードバックされる。僻地校での使用感想は、使い勝手がよい、4人の登場人物に親しみがわきやすい、「最初に読む」の説明が役立つ、一回分のプログラムがどれも7つの下位プログラムに設定されているのが便利、発音がPC上でも違和感なく再生されている、との好意的な感想があった。

1. 仕事で使う英語

今の小学生が社会で活躍する20-30年後は、多くの日本人が国境を越えて仕事をする機会がますます増えると予想される。アジアであれ、欧米であれ、アフリカであれ、仕事で使う言葉は「英語」であろう。仕事で使う英語はレベルが高いので、非常に長時間の学習を必要とする。日本の中学校、高等学校、および大学で学ぶ英語は1000時間にも満たない僅かな学習時間しかないので、英語留学ができる一部の人を除いては、その実力は仕事で使う英語のレベルに達しない。中国をはじめ、アジアの諸国が急速な発展を遂げつつある今日、日本が生き残るためには、コミュニケーション・ツールとしての英語力の向上は、この国の緊急課題になってきた。

2. 日本人の英語力はなぜ伸びないのか？

日本のTOEFL受験者の得点はアジア三十カ国の中で下から二番目である(2009)。その実力は、中国・韓国・台湾等の受験者に大きく水を空けられている。なぜだろう。1.英語は日本語とは言語的距離が大きい。2.英語の先生でさえ英語力に問題が見られるほどで、英検の準1級以上では中学の英語の先生で10.1%、高校の英語の先生で19.6%となっている(2005年7月18付読売新聞)。3.英文法中心の講義式の授業が多い。4.「易しさと甘え」が主流となっていて、落第のない日本の学校では、一部を除いて生徒は真剣に学習しない。5.大学での英語教師の養成が、日本語主体で行われている。6.日本は人口が多く、翻訳文化が定着しているため、仕事に使う高いレベルの英語力を必要とする人は僅かである。7.主張しない文化が根底にある。すなわち、相手を知ることには重きがあり、自国・自分を表現する機会が少ない。8.英語力を昇進等の条件にする企業は増えているが、その率は低い。9.懇切丁寧な翻訳文化であるため、諸外国の事情について日本語で理解可能である。10.そして見落としてはならないのは、学校での英語力の達成度に対して、政治家・行政・教育委員会・校長等、誰も責任を問われないことで

ある。 以上のように、日本人の英語力が伸びないのは、種々の理由がある。

3. 小5・6年の英語教育始まる

多くの識者から、アジア諸国と比べて日本人の英語力が十全ではないとの指摘を受けて、文科省は子どもの英語能力を早期から伸ばすための教育を開始した。2011年より、小学校の5,6年生は、週に一度の英語活動の授業を受けている。その目的は、①身近な事柄に関する英語を聞いたり話したりして、英語活動の楽しさを味わわせる、②積極的なコミュニケーションの態度を育成する、③外国の言葉や文化に対する興味や関心を深める、である。この2年間の早期英語教育を受けた子どもたちは、大人になった時点で、現在の大人に比べると、確かに英語能力を幾分は高まるであろう。しかし危惧される点もある。

①英語教師としての訓練を受けていない普通の教師が、果たして子どもの英語力を伸ばせるのか？ ②悪くすると、英語嫌いの子どもの多くを多く生み出してしまわないか。③熱心に英語教育に取り組む小学校とそうでない小学校では、子どもの実力に大きな差がつき、中学校になった時点で、専任の英語教師がとまどうのではないか。④国際理解教育が強調される小学校英語では、二年間の英語教育の延長の割には、英語の基礎が積み上がらないのではないか。等々である。

4. 子どもの発達のどの時期が高いレベルの英語獲得に重要か

1) Native はどれくらいの語彙をもつか？

・ 18歳の日本の男女は50000以上の語彙(単語、動詞、表現)をもっている。

⇒ 18歳までに、学校で学ぶ英語の語彙は約3,000である。

・ Nativeの大学・大学院生は、30,000以上の語彙があるといわれる。

⇒ Nativeは多くの語彙をもっている。

⇒ 多くの語彙をもつと推測が働き、次の語彙の獲得を有利にする。

2) 高い英語力の獲得には幼児・児童期の学習がキーになる

・ 言語獲得の臨界期-----0-2歳の時期に言語習得ができないと、重度の言語遅滞が生じる。

ヘレンケラーは生まれてからしばらくは正常であった。それが高い言語力につながった。

・ 英語音獲得の適期-----6歳から12, 3歳？

・ 絶対音感---- 6-9歳？

・ 分析的思考が優勢になる前----**幼児・児童期が適期**

5. 英語学習環境に恵まれない小学生の英語学習

1) 英語学習環境に恵まれないとは

a. 経済的理由と住む場所からくる制限、b. 英語学習に関する知識が不十分、c. 教育は学校にまかせるという伝統、d. 語学力をつけるには適期があるとことをしらない、e. 今後高い英語力が仕事の上で大切なことに気づいていない

2) 誰が子どもの英語学習にかかわるか

a. もちろん、教師である。

b. 塾や英語学校におまかせ⇒学校英語のレベルまでしか伸びない。

c. 両親がかかわる(夕方家にいる母親(または父親)がかかわる)。

6. 小学校5・6年の英語活動の内容（35回+35回：5・6年出現単語約400個）

5年: Lesson 1 Hello! 世界のいろいろな言葉であいさつしよう、L2 I'm happy. ジェスチャーをつけてあいさつしよう、L3 How many? いろいろなものを数えよう、L4 I like apples. 好きなものを伝えよう、L5 What do you like? 友だちにインタビュージュしよう、L6 What do you ~?, アルファベットをさがそう、L7 What's this? クイズ大会をしよう、L8 I study Japanese. 夢の時間割を作ろう、L9 What would you like? ランチメニューを作ろう。

6年: Lesson 1 Do you have "a"?、アルファベットクイズを作ろう。L2 When is your birthday? 友だちの誕生日を調べよう、L3 I can swim. できることを紹介しよう、L4 Turn right. 道案内をしよう、L5 Let's go to Italy. 友だちを旅行にさそおう、L6 What time do you get up? 一日の生活を紹介しよう、L7 We are good friends. ザオリジナルの物語を作ろう、L8 What do you want to be? 「夢宣言」をしよう。

7. 5・6年の英語活動の目標とその限界

5・6年の英語活動の目標は以下である。「外国語を通じて、言語と文化について体験的に理解を深め、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成を図り、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しませながら、コミュニケーション能力の素地を養う。」

上の目標には、「書き言葉による文表現と単語の学習」が欠けている。しっかりとした英語の基礎を身につけるといふより、英語に慣れさせることを優先している。それゆえ、2年間で身につく英語の基礎は、非常に限定的にならざるを得ない。したがって、大人になった時点で、仕事に使える高いレベルの英語を習得しようとする「親子」には、物足りないものであることは否めない。筆者が開発した5・6年用のWindowsプログラムは、会話や単語の音声の学習のみならず、つづりの学習もくり返してできるように設計されている。

8. 5・6年-英語学習Windowsプログラムの内容（35回/学年）

5・6年の英語プログラムは7ステップから成っている。ステップ1. 毎回新たに学ぶ6~10の単語の発音練習。画面に日本語と英語のつづりが示され、ネイティブの発音を聞き、その発音をまねる。練習回数は任意に設定できる。ステップ2. 英単語の最初の文字のみの学習。日本語が出てから、英単語の最初の文字を打ち込むまでの時間が計られ、その時間に応じて、ロケットが高い位置に上昇する。ステップ3. 対話文の聞き取りと返答。ネイティブ教師が「How are you today?」のようにきいてくる。それに対して太郎/花子が「I'm fine today.」と答える。学習者は太郎/花子の音声をまねる。ステップ4. 太郎/花子がネイティブに問いかける。学習者はこれをまねる。ネイティブが答える。ステップ5. ネイティブが質問するので、それに対応した英文を考え、英文を構成する英単語の最初の文字のみを打ち込む。打ち込む速さに応じてロケットが上昇する。全部の対話文が終わった時点で、対話の速さが100点満点で何点に当たるかが示される。ステップ6: 今度は学習者が日本語文に対応した英文の最初の文字を打ち込む。速さに応じてロケットが上昇する。それにネイティブが答える。ステップ7: 全ての単語のつづりを打ち込む。正しく打ち込めるとアルファベットが発音される。練習時は、英語のつづりすべてが画面上に現れるが、テスト時にはそれが現れない。また打ち込むスピードに応じて、ロケットが上昇する。最後に、単語のつづり学習が100点満点で何点に当たるかが示される。

9. 英語環境に恵まれない僻地小学校への無料配布

1000校を超える全国の僻地小学校に無料配布の案内をだした。200本を超える依頼があったので、無料でプログラムとパスワードに当たる「シリアルナンバー」を送付した。

10. 使用感想等

小6英語学習ロケットを使ったK小学校の感想：先ず、文科省の「Hi!Friend2!」に準拠しているので、使い勝手が非常によいです。4人の登場人物に親しみがわきやすく、英語の学習が進めやすくなっています。次に、レッスン内容の前に「最初に読む」の項目があり、使い方の説明がされているのも教える側にとって大変役に立つ設定になっています。一回分のプログラムが、どれも7つの下位プログラムに設定されているのが、統一されていて使いやすい設定となっています。また、発音がPC上でも違和感なく再生されていますので、使い勝手の良さを感じられます。試しに使用させたところ、英語の学習に意欲的な児童は、「1:ハロー」から意欲的に取り組んでいました。全体的に一学級少人数の使用の方が本ソフトを利用した英語学習の効果が高まると思われます。



登場人物 *この英語のレッスンには日本人の小学生「山田太郎」,「佐藤花子」が登場します。あなたは、「山田太郎」または「佐藤花子」になりきって、英語の学習を楽しんでください。

 <p>山田太郎 (pupil) Name: Taro Yamada Age: 11 years old City: Fukuoka Country: Japan</p>	 <p>佐藤花子 (pupil) Name: Hanako Sato Age: 11 years old City: Sendai Country: Japan</p>
 <p>教師: (Teacher) Name: Kei Yumino Age: 25 years Old City: Shizuoka Country: Japan</p>	 <p>支援教師: (ALT) Name: John Duros Age: 24 years old City: Omaha Country: USA</p>

